航空科学技術ロードマップの概要

1. あるべき姿を実現するための全般的活動

I. 世界の市場環境や産業構造の変化への対応

- ・国際競争力のある主要部品素材の製造技術、製造ネットワーク形成
- 異業種取り込みによる新たなビジネスモデルの開拓
- ・MRO(Maintenance, Repair & Overhaul)も含めたライフサイクルでの事業への取り組みや国内バリューチェーンの構築
- ・認証取得プロセスの国内体制の強化
- ・新素材・新製造法等の国際標準化及び国際標準とのコンパチビリティの 確保

Ⅱ. 安心・安全な社会や経済活動を支える社会インフラ構築への対応

- ・安全かつ効率的・経済的な運航のための航空交通システムへの変革
- ・災害時に有用な無人機の法的整備、運用体制の確立

Ⅲ. 安全保障への対応

- ・新技術製品の防衛と民生のデュアルユースによる調達価格の低減化
- ・共通的技術課題における防衛・民生間の協力



上記を実現する共通事項

- ・地域クラスターの形成や、検査や法務等に係る知識・経験の共有化に向けた産学官連携体制の構築
- 人材交流やサプライチェーンの国際化の強化
- ・大学等の革新的な技術シーズを活用できる仕組みの構築

航空科学技術ロードマップ委員会事務局

2. あるべき姿を実現するために強化すべき技術

I. 我が国の航空産業(特に製造産業)の国際競争力強化

		あるべき姿	実現するために求められる技術
	短	リージョナルジェット分野で競争力を有する	開発おける課題克服、インテグレーション技術、低コスト化、認証、メンテナンスサービスIT化
機 体	_	リスクシェアパートナーとして高い地位にある	プロセス管理向上、複合材高性能・軽量化、摩擦抵抗低減化、低コスト化継続
	中	リージョナルジェット分野で更なる競争力を有する	全機システム設計、騒音低減化、複合材構造設計、ヘリ・小型機等自動操縦
	長	技術革新が起こっている	無人機、全電動化、空地データリンク、精密飛行、超高アスペクト比主翼設計
エンジ	短中	リスクシェアパートナーとして高い地位にある	エンジン低騒音化、革新軽量複合材(ファン)、セラミック基複合材(タービン)、高温高 圧系要素技術、耐熱金属、コアエンジンシステム設計、統合解析、低コスト化
ン	長	革新的な航空機等の出現に向けた主体的役割	水素燃料等の代替燃料技術
VI-L	短	機体開発において貢献度を高めている	競争力強化への取り組み(部品信頼性データ集積等)、認証技術強化
装備品	中長	要素技術について先進の技術力を身につけ、競争 カ・貢献度を更に高めている。	オートパイロット、飛行管理装置、電動化、無線データ通信、ソフトウェア 有害物質の排除技術等の環境に優しい製品設計
素材	短 中	炭素繊維複合材技術で国際的競争力を有する	複合材の活用技術の改善・開発
	長	複合材に代わる革新的な素材	カーボン繊維に代わる新素材の開発、新素材適用技術

Ⅱ、安全で効率的、低コストかつ環境(騒音・CO2等)に配慮した航空輸送システム

•	短中	・安全性の向上 ・効率化(低コスト化) ・利便性、運航量増大と環境が両立した運航の継続 ・運航データの蓄積	・新しいマンマシンインタフェイス設計、操縦自動化、パイロット支援、自動衝突防止、 乱気流検知、突風荷重軽減化、無人機安全確保 ・低コスト非破壊検査、構造健全性モニタ、複合材メンテナンス ・高精度衛星航法、低騒音運航 ・上記に必要な運航・安全情報の蓄積・分析(運航データマイニング)
	長	安全性の向上、効率化	革新的技術による航空機の開発(障害に強い、低コスト)

Ⅲ. 航空機利用による社会生活の危機対応能力の向上

短	航空機利用による危機対応能力構築	通信高度化、有視界飛行、災害情報統合化、高速大容量通信、無人機、防災へリ計器飛行制御、有人機・無人機混在時安全性向上、最適運航管理
中		
長	技術革新が起こっている	無人機技術(ミッションに応じた自律飛行技術、編隊飛行技術)

Ⅳ. 我が国の安全保障に資するデュアルユースでの貢献

短	・戦闘機開発を選択できる技術、ヘリ開発・無人機運用技術確立	
	・効率的な装備品等の取得	
中	・防衛施設と周辺の一層の調和に資する技術の推進	

機体構造軽量化、無人機飛行安全確保、製造・維持コスト低減化、ヘリ騒音低減化、 エンジン環境負荷低減化

3.あるべき姿の実現を支える共通基盤技術

空力系技術 材料

材料/構造系技術 推進系技術

情報処理系技術

誘導制御系技術

整備系技術

製造/加工系技術

運航系技術

4.人材育成

育成すべき人材像

国際的人材、技術開発、構想設計、マネジメント、認証、製造、運航

人材育成に必要な共通的活動

コンソーシアム、公募型研究制度、飛行実証、人材交流、技術の保持・伝承